

キャラクター名
火結 ホタル

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	
	ブラックドッグ					
オプション		年齢	20歳	性別	女性	
覚醒	渴望	衝動	破壊	初期侵食率	42%	
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:		6	情報: UGN	1	6
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	8r+5	0	8		
インプラントミサイル	射撃	6r+1		12		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アーマメントベルト		12			セットアップで使用、装甲12となり素手のデータを「攻撃力:8」へ変更

所持品	
ブルージズ	
データブレイン	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
秘密兵器	P	N		
”英雄”	P 遺志	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
《C:サラマンダー》	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 組み合わせた判定のC値-1(下限7)								
《炎神の怒り》	1	3	メジャー	-	-	【肉体】	-	
効果: 組み合わせた判定のダイス+[Lv+1]、HP3点消費								
《炎陣》	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバーリングを行う								
《イオノクラフト》	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 飛行状態で移動する。移動距離+[Lv*2]m								
《ポルターガイスト》	1	4	マイナー	至近	自身	自動	100%	
効果:所持品から武器の一つを選択する。そのシーン中、自身が行う攻撃の攻撃力に+[選択した武器の攻撃力]する。選択した武器は破壊される								
《ハードワイヤード》	4	基+4	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 専用アイテムからLv個常備化する								
人間発電機	★							
効果:								
セキュリティカット	★							
効果:								
熱探知知覚	★							
効果:								
不燃体	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

火結 (ほむすび) ホタル 20歳 両親は他界し、他に家族もいない。
 “灰被りのノア”と呼ばれる大規模テロ事件を解決し“英雄”と呼ばれた経験を持つ女性エージェント。
 師から受け継いだパワードスーツを纏い、炎と爆発で敵陣を駆け抜ける姿は、UGNの中でも一際異彩を放つ。

幼少期に両親を失ったホタルだが、持ち前の気丈さで普通の生活を送っていた。
 そんな折、バス爆発事故に端を発する事件に巻き込まれ覚醒。
 そこで共に戦ったエージェントに強く憧れ、半ば強引に弟子入りを志願することに。
 以来、師のもとでオーヴァードとしての鍛錬を積み重ねていく。

師匠の相棒でもあったロベルタとはその時からの付き合いで、今でもほとんど妹のように扱われている。
 ホタル自身も気恥ずかさ勝るものの、彼女を姉のように慕っており、内心では深い信頼を寄せている。

師匠からは「エージェントには向いていない」と繰り返し諭されながらも、ホタルはあくまで弟子の道を貫き通した。
 そして高校卒業を機に、ついにパワードスーツを受け継ぎ、正式なエージェントとして歩み出すこととなる。

順調に実績を積んでいった彼女だったが、「灰被りのノア」事件をきっかけに、師匠の言葉の真意を痛感することになる。
 それは、自らが守ることのできなかつた人々への悔恨、そして英雄という称号に対する苦悩だった。

夜ごとに見るのは、自分が作り出した焦土の夢。
 決して癒えることのないその記憶が、彼女の装甲に包まれた苦の血肉を焼き続ける。